

## 【公益】社会福祉・児童

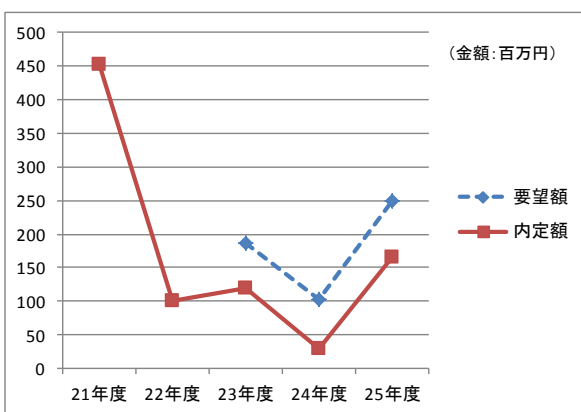
### 1. 補助の目的・概要

社会福祉の増進を目的とする事業の中で、主として児童福祉法の範囲となる児童の分野については、児童養護施設や母子生活支援施設などの施設建築や福祉事業について支援を行ってきた。

平成 23 年度の公益事業振興補助においては、児童福祉関連の建築 1 件、福祉事業 4 件（他、辞退 1 件）について支援を行った。

### 2. 補助実績（件数・金額）

#### 社会福祉・児童



年度	要望数 (件)	要望額 (百万円)	内定数* (件)	内定額* (百万円)
21年度			6	453
22年度			6	100
23年度	8	186	5	119
24年度	8	103	5	30
25年度	12	250	10	165

※辞退となった事業を除く

平成 23 年度の補助事業においては、8 件 1 億 8,600 万円の補助要望があり、そのうち児童養護施設の建築事業 1 件に 8,900 万円、こどもが幸せに暮らせる社会を作る活動事業 4 件に 3,000 万円、合計 5 件 1 億 1,900 万円の支援を行った。なお、5 件の内定事業のうち、1 件が辞退となった。

### 3. 補助事業の事例

<p>社会福祉法人三愛園 児童養護施設の建築</p> <p>老朽化した児童養護施設本館の建て替えを機に、国が進める「小規模グループケア施設」を取り入れ、虐待等で傷ついた子どもたち等への手厚いケア向上に努める場とする。高齢児用に個室の居室を整備し、心理ケア室や家庭支援相談室も設置。</p>	
--	--

NPO 法人チャイルドライン支援センター  
こどもが幸せに暮らせる社会を作る活動

2010 年度にチャイルドラインで受けとめた子どもたちの声について、子どもたちから寄せられたチャイルドラインに電話をしての感想、またデータから見える子どもたちの現状や東日本大震災に関してチャイルドラインに寄せられた子どもたちの状況等をまとめた報告書を作成、子どもに関わる活動を展開する団体等に配布し、児童虐待防止の啓発活動を実施。



#### 4. 補助事業の成果

(福) 三愛園の行う、愛媛県松山市における児童養護施設の建築について補助を行った。この事業は、児童相談所の判断により入所することとなった、保護者のない児童や虐待されている児童の受け入れ先となる施設の建築事業であり、家族的な小規模グループによるケアを行う「小規模グループホーム」の理念に基づき整備されている。

また、(N) チャイルドライン支援センターの行う、児童虐待防止啓発キャンペーン事業についても支援を行った。チャイルドライン支援センター並びに全国 45 都道府県 77 団体のチャイルドライン実施団体、1 県 2 団体の準備団体を通じて、大人向けキャンペーンパンフレットを作成し、子どもに関わる大人やその他広く社会一般の大人に配布。子ども向けには問題を抱えて孤独に陥りがちな子どもの SOS を受けとめる“心のセーフティネット”であるチャイルドラインの説明や電話番号等を明記したキャンペーンシールを作成し、各地の学校を通じて、全国の子どもたちに配布。また、2010 年度にチャイルドラインで受けとめた子どもたちの声について、子どもたちから寄せられたチャイルドラインに電話をしての感想、データから見える子どもたちの現状や東日本大震災に関してチャイルドラインに寄せられた子どもたちの状況等をまとめた報告書を作成し、子どもに関わる活動を展開する団体等に配布する等、虐待を未然に防ぐ子どもと大人に向けたキャンペーン活動を行った。

これらの事業により、児童福祉の向上、児童虐待の防止を図るとともに、すべての子どもが幸せに暮らせる社会に向けた活動が幅広く行われた。

#### 5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象 6 件（1 補助事業で複数項目を評価していることがあるため事業数とは異なる）のうち、5 段階評価で、評価 5 [極めて高い] が 1 件、評価 4 [比較的高い] が 3 件、評価 3 [ほぼ問題ない] が 2 件であった。

事業者の自己評価等を踏まえ J K A で評価を行ったところ、A+ [比較的高い] が 5

件、A[概ね十分]が1件と、すべての事業で補助事業として概ね十分と評価されるA以上の評価となっており、補助の目的である、社会福祉における児童福祉の増進に寄与することができたと思われる。

#### 6. 今後の検討課題

児童虐待は今日的な問題として憂慮すべきであり、子ども達が幸せに暮らすことができ、健全に成長することができる生活基盤を確保する意味でも、他の児童福祉事業と同様に引き続き支援対象とする必要がある。

また、少子化が進展する状況の下、従来型の児童福祉施設については、地域の状況、事業内容を精査して検討する。